

ピラミッド/Book

9. 10月のテーマ:からだ

きりん組:ポティーイメージ



らいおん組:空間を学ぶ

子ども達は、自分の体を十分に動かして遊びながらまわりの環境の中で自分を意識し、自分自身を理解し始めます。そして、空間の中で行動し十分に遊ぶことで、自分を中心に空間概念の理解へとつながると思います。

そこには自分の位置関係を理解することから“じぶん”を原点に「上」「下」「右」「左」「広い」「狭い」など知識として広がっていきます。さらには見えないところを創造するイメージ力につながっていきます。

ぞう組:ほくとわたしのからだ

年間テーマ活動

	テーマ	発達領域
4, 5月	受け入れ 春	個人の発達 時間の理解
6月	大きさ	考えることの発達
7月	色と形	考える事の発達
8月	水	知覚の発達
9, 10月	からだ	空間の理解
11月	衣服	言葉の発達
12月	交通	言葉の発達
1月	数える	考える事の発達
2,3月	期待	時間の理解

ぞう組

【テーマ 体】

なんだろう？
(方向づけ)



9・10月の活動のテーマは【体】です！
最初は、体を動かして遊ぶ事を楽しみました。
子どもたちもよく知っている♪エビカニクス♪や
新しい♪バナナくんたいそう♪、わらべうたの“お
かごぎちぎち”など。知っている体操は、子どもた
ちも曲に合わせて自信をもって体を動かし、初めての
の曲は保育者も一緒にしながら「手は上～」「手は腰
～」と知らせる事で上手にまねていました。「バナナ
のポーズは？」と尋ねると、「手うえ～！」と言い、
手を揃えて上にあげかわいいバナナがたくさん並ん
でいました。
しっかりと体を動かす事を楽しむ事から活動が始
まりました。



足で蹴って
みよう！



おしりに
くっついたぁ



風船でも遊
んだよ！

みてみよう
(見本を見せる)



人形を使って、「ここはなにかな？」と話すと、《手・
足・頭》という言葉がすぐに返ってきました。
「手をよこにして、あしをあげてみよう」と人形にポーズ
をつけると、「あっ！ひこうきや」と言ったり、すぐに同
じポーズをする子もいました。発見コーナーに人形を置いて
おくと、「手 上にしてん…バナナのポーズ」と言って見
せに来る子もいました。また、フラミンゴ等のポーズを人
形で作り実際に自分も同じポーズをしていたり、反対に同
じポーズができない事に「できひ～ん」と四苦八苦し友だ
ちと笑っていたり、楽しんでいる姿もありました。

部屋に新しく《お医者さんコーナー》を作りました。
《お医者さん》は子どもたちにも身近で真似てみたい遊
びの1つでもあるので、みんな興味津々で嬉しそうでした。
「どこが痛いですか」「足ケガした」「お腹が痛い」
などのやり取り、熱を測ったり注射などを楽しみなが
ら、自然と体の名前などを言葉にして遊んでいました。
ぬり薬は「腕に塗る…乾燥してるとこ」と話す子もい
ましたよ。

おくすり
ぬるよ～



あかちゃん
おなかがい
たいんです
…



どうしてそうなるの？
(理解を広げる)

これが口かなあ？



怒った顔だよ～



ひょっとこやおかめの福笑いを発見コーナーに置きました。見慣れない口の形やまゆげに「何かな？」と考え、順に目や鼻などわかるものから置いていき、「口がない!」と気づくと「これ口?」と聞いて来たり、聞いてもまだ半信半疑のような子もいました。実際に口の形をしてみせると少し納得し、次は友だちに「これ口やで!」と教えて遊んでいました。そうして遊ぶ中で、「眉毛は目の上やな」「鼻の下は口やで」と言いながら並べていたり、「鼻反対になってるで～」と教えている姿もありました。遊んでいくうちに、眉毛や目の角度を変えて「怒ってる～」と表情を作って遊ぶようにもなっていました。

もっとしたい
(理解を深める)



最後に、自分の顔をクレヨンと絵の具を使って描きました。

「鼻の上には何がある?」「顔の横には何があるかな?」と聞いたり、「眉毛は?」「目の上～」等と子どもたちと話し実際に触ったり、鏡で自分の顔を見て描きました。「〇〇の顔は四角いねん!」と四角の顔を描く子、鼻の形を描く事が難しく鏡で見ている子、「口“あ～っ”てしてんねん」と開いた口を描いたり、まつげまで丁寧にかく姿もありました。

体を動かして遊ぶ事から、顔や体について知り自分の顔を描く事まで、体についてたくさん楽しみました。



またある日、「せんせー! やぎにつのあるねんで」と知らせに来てくれた子がいました。そこで、『いいおかお』という絵本をみんなで見ました。「つの 頭にある!」「ゴリラの鼻はなんか(皆と)違うな～」「まゆげないな～」と動物の顔にも興味や関心を広げ楽しんで見ていました。



きりん組

テーマ ～からだ～

①なんだろう (方向づけ)



体の部位を知るために、サークルタイムでは、詳しい体の部位(ひじ・ひざ・かかと・つま先等)について、みんなで確認しました。「かかとってどこにある?」「この名前知ってる?」など触ったり、声に出して自分の体や友達の体に興味や関心を持つ姿が見られました。

ここなに～?



ここ耳あるで

かかと知ってる



“いろんな顔あつぷつぶ～!”
リズムに合わせて、怒った顔・笑ってる顔・悲しい顔など様々な表情を作って楽しんでます♪

わはっはっ!

エーンエーン

つま先とどいた



ブンブン!



②みてみよう (見本を見せ)

「鼻はにおいがするところ!」「耳はお話聞いたり、音を聞こえる!」などそれぞれの部位役割について話しました。「どんなにおいがするかな?」梅干や石鹸を嗅いでみると、「すっぱーい!」「お風呂のいいにおいがする!」など様々な感想や反応がありました。

すっぱ～



いいにおいやな



こんな顔ができた



♪アブラハムのこでは、左手・右手・おしりなど体の部位を探しながら、音楽に合わせてリズム遊びを楽しんでいます。「次は(体の部位の)どこがでてくるかな～?」と耳を澄ましたり、曲の最後では右手・左手・右足・左足・おしり・頭「全部やん!」と言いながら、全身使って楽しむ姿が見られました。

③ どうしてそうなるの？
(理解を広げる)



背中をゴシゴシ



腕から洗う



大人気のお風呂コーナーでは、頭や体を洗ったり、「いい湯だなあ」と浴槽でくつろいでいました。友だち同士では、背中や頭を洗ったり、「かゆい所はないですか〜？」と声を掛ける姿が見られました。お風呂の後は、ドライヤーで髪の毛を乾かしたり、顔や体にクリームをつける真似をしてごっこ遊びを楽しんでいました。



頭洗ってんね



かゆい所ないですか



「お風呂に入りましょうね〜！」と優しく声を掛け、人形の赤ちゃんをお風呂に入れたり、体を洗ってあげたり、お世話を楽しんでいました。



やさしく
やさしく

④ もっとしりたい
(理解を深める)

初めてパラバルーンを持ち、「めっちゃ大きい！」「バサバサ音してる！」大興奮の子どもたち。揺らす・上げる・しゃがむ・ひっぱるなど、しっかり体を動かしながら、帽子・ロケット・メリーゴーランド、様々な技に挑戦しました。リレーでは、18人でバトンをつなぎゴールを目指します。バトンを落としたり、転んでも、諦めず最後まで頑張る姿が見られました。



腕伸ばして飛行機に変身！



足と足をくっつけて…

友だちと力を合わせて色々なポーズに挑戦！手をつなぎ、足の裏同士をくっつけて…できた！「トンネルみたい！」手をつないでひっくり返ると…背中がくっついたね！



背中くっついた〜！



①なんでだろう
(方向づけ)



最初に自分自身と友だちと体を見比べ違いがあるかを探してみました。もちろん、大きさや形・長さの違いはありますが、実際にからだの部位を言って触れてみると無い箇所はなくみんな同じだということに気が付きましたよ。

どう
しましたか？



「じゃあ、赤ちゃんはどうなんだろう？」と投げかけると、「生まれて来たときは、一緒やった！」「あっ赤ちゃんの写真みたら同じやもん」と思い思いの意見を話していましたよ。

そこで、看護師に赤ちゃんについての話をしてもらいました。最初はお母さんのお腹の中にいること。でも人の形にもなっていなかったことや少しずつ耳などが出来てきて人間の姿になっていくこと。そして、小さくても命がありお腹の中で生きていることを教えてもらいました。また、妊婦の保育者のお腹の中の音も聴診器を使って、聴かせてもらいました。

赤ちゃんの心音はやはり探すのに難しいようですが、見つけて聴けた子もいたようです。でも、羊水の音は「ポコポコ」とよく聞こえていましたよ。



病院コーナー



2週目は『からだ』について知っていることを、書き出し蜘蛛の巣にしてみました。目に見える体の部位の名前については細かく『爪』や『皮』(皮膚)も出てきましたよ。

また、胎児の心音を聴いていたこともあり、心臓も出てきました。あと、先月にした「水」も体内にあることを絵本で知ったことも出てきていましたよ。

みてみよう
(見本をみせる)



お尻

腕



肩と足の裏



体の部位の名前を書いたサイコロを使って、みんなで遊びました。振って、出てきた体の部位どうしを触れ合わせるという遊びです。そこには、骨や筋肉など蜘蛛の巣をした時に出てきた言葉も入れました。すると、「骨は中だから、くっつけないよ。」「血も中やでと！」と出てきました。すると「あっ！蜘蛛の巣に書こう！」と言い始め蜘蛛の巣に外・中・上・下・後ろ・前などを書き込みました。部位によっては、『足の指』は「下で前やなあ」「心臓」は「体の真ん中で中やな！」などと組み合わせて表現をしていました。

手の甲



**③ どうしてそうなるの
(理解を広げる)**



体はどのように動くのかをいろいろ動かしてみました。立ったり座ったり、片足を上げたり、曲げたり腰を捻ったりしていました。「骨と骨の間が曲がるなあ」と気が付いた子もいましたよ。そして、自分の好きなポーズを友だちと模造紙に型取りました。

「ソーラン節」の振りを、鏡に映してどのように見えるかを確認をして体の動かし方を研究している子もいましたよ。

腕から
書くね



交代して

肩へん
やな!



こんな
かんじかなあ?



足の方に
いきま〜す!

制作コーナーは、割ピンを使ってブラブラ人形も作りしましたよ。いろんなポーズを作ったり部屋の中を散歩させたりして遊んでいましたよ。

運動会の取り組みを通して、自分の周り空間は少しずつ意識するようになりました。

縄跳びや竹馬では、「友だちと間を空けてね。」と声をかけても実際に始めるとあちらこちらで縄同士が当たりお互いに「もう…。」ということや竹馬から降りる時にぶつかりそうになったりしていましたが、今では少なくなりました。

ソーラン節では、向きを揃えないと隣とぶつかり合うため、友だち同士「あっちからだよ。」「ぶつかるから、違うよ。」と声を掛け合いながら取り組んでいましたよ。

**④ もっとしりたい
(理解を深める)**



運動会の取り組みだけで無く、いろんな場面でもスムーズに対応が出来るようになりました。

状況に応じて、友だちの横に並んだり、後ろに並んだり言葉も覚えて、指示を聴いて動けるようにもなりました。

友だちとの間隔を前後左右を自分らの目だ確かめて出来るようになりました。



間、空けとかな、みんなとおられへんで!



みてみて〜!!
並べたでえ〜!

部屋でも、椅子を机のようにするのに「並べてね。」と伝えると隣同士はくっつき、前後もくっつきで通れないし、座れないといった状況になっていましたが、「どうやったら、すわれるかな。」「どうしたら通れるかな。」と尋ねていくと、少しずつ気づいてくるようになり、「もう少し後ろ。」「道みたいにあけとかな、あかんで。」と聞こえてくるようになりました。



